

# 令和2年度 岡崎市立大門小学校 部活動に係る基本方針

## 1 本校の現状

- ・部活動の教育的意義からも、積極的な参加をすすめているが、習い事に通っているなど本人の事情に合わせて、「自由参加」としている。
- ・入部は小学4年生からとし、仮入部期間を経て本入部となる。
- ・部活動の種類は、以下の通りである。(令和2年3月現在)

ソフトボール部男女、バスケットボール部男女、バレーボール部男女、自転車部、水泳部、合唱部、絵画部、(期間限定…陸上部)
---

## 2 本校における課題

- ・児童数に相応した部活動数にしているが、数のわりに学校敷地が広くなく、練習場所の確保が難しい。休日は活動時間をずらすなどの工夫をして練習を実施している。
- ・本人の安全確認の意味においても、欠席の連絡は必ずするよう呼び掛けている。しかし、休日実施の部活動では、無断で部活動を欠席する児童が稀に見られる。
- ・習い事と部活動が重なってしまった際、どちらを優先するかについては、家庭との協議の上、その意向を尊重するものの、両立の在り方については課題視している。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止にむけて、「3つの密」を避けるなど必要な対策を講じ、安全かつ効果的に部活動を運営していく必要がある。

## 3 具体的な活動方針

### (1) 部活動運営について

- ・学校は、「子供の希望に基づき編成し、体力や技能の向上を図る取り組みを行う」という方針で部活動を運営し、基本的に複数顧問の体制を整備する。
- ・校長は、子供のやる気と健康面の双方に留意し、顧問と相談し出場大会を決める。  
運動部は、「岡崎市小学校体育大会(球技大会、水泳大会、陸上大会)」に参加する。  
この他、状況に応じて各種競技団体が主催する大会にも参加する。  
文化部は、「岡崎のハーモニー」や各種団体が主催するコンクールに参加したり、学校行事(P T A作品展)や学区敬老会など地域の行事等に参加してその成果を披露・発表したりする。
- ・顧問は、常に子供の健康状態や安全・安心面に配慮した部活動運営をする。とりわけ、現状は新型コロナウイルス感染拡大防止にむけ最大限の注意を払う。

### (2) 活動量(休養日や活動時間等)について

#### ア. 平日

- ・毎週月・木曜日は必ず休養日とする。
- ・活動時間は日没に合わせた下校時刻を設定して、その中で行うようにしている。  
(活動は2時間以内とし、始業前は活動しない)  
なお、最終下校時刻は次のとおりである。

【最終下校時刻】(開始時刻…15時50分より)	・10月16日～31日…16時30分
・4月…17時00分	・11月～12月…原則行わない
・5月～9月15日…17時15分	・1月…16時30分
・9月16日～30日…17時00分	・2月1日～15日…16時45分
・10月1日～15日…16時45分	・2月16日～3月…17時00分

## イ. 休日（週休日及び祝日）

- ・土曜日・祝日は実施可能とし、日曜日は原則活動しない。
- ・毎月「第3日曜日〈家庭の日〉」は、原則、年間を通して「休業日」とする。
- ・活動時間は3時間以内とし、長時間の練習は行わない。

## ウ. 長期休業中

- ・土・日曜日は、原則活動をしない。
- ・活動時間は3時間以内とし、長時間の練習は行わない。

※今年度、夏季休業中は（大会日の近い）水泳部を除き、部活動練習を行わない。

## 4 その他

### (1) 保護者との連携

- ・保護者に練習の状況を把握してもらうために、顧問が作成した「月の練習計画」を事前に必ず配布する。また、顧問は必要に応じて部活動通信を発行して連携を図る。
- ・今年度は、6月の部活動再開に合わせて、各部から「練習再開にあたり新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みについて」の文書を配布した。
- ・「授業参観日」等の機会を用い「部活動参観」の時間を設け、部活動の様子を公開する。

### (2) 安全の確保と緊急時の対応

- ・活動場所の施設、または活動に用いる設備・道具については、顧問が常に点検をして、事故防止に努める。
- ・緊急の事態や不測の事態に対処できるように、顧問不在の活動にしない。また、できるかぎり複数による指導体制とする。
- ・万が一、事故が発生した場合は、速やかに応急処置を施すとともに、管理職（または役職）に連絡し、組織として対応する。また、事後も再発防止に向けて、事故原因の分析、安全管理と指導方法の再点検などの対策を早急に講ずる。
- ・平日の部活動は、終了時刻に合わせて集団で下校する（部活動下校）。休日についても、近隣の児童同士で集まって登下校するよう働きかける。
- ・夏季の部活動については、熱中症を予防するために、その日の気温やWBGT値（熱中症指数）を養護教諭（休日は顧問）が確認し、活動時間の短縮や休憩時間の統一など適切な対応を周知する。また、天気予報や雨雲レーダー等により、活動中の天候を随時確認し、ゲリラ的な豪雨や落雷の恐れのある場合は、すみやかに活動を中止して安全な場所に避難する。